



民音音楽博物館 館報

創刊特別号

発行日：2005年3月16日
編集：財団法人民主音楽協会
民音音楽博物館
〒160-8588
東京都新宿区信濃町8番地
Tel: 03-5362-3555
Fax: 03-5362-3556

ご挨拶

民音音楽博物館は、世界でも数少ない音楽博物館でのひとつで、2003年（平成15年）12月25日、東京都より登録博物館として認可されました。

その前身は財団法人民主音楽協会（通称・民音）の創立10周年事業のひとつとして1974年（昭和49年）に創設されたライブラリー中心の民音音楽資料館（東京都新宿区北新宿1-32-13、旧・民音会館）です。

1997年（平成9年）に現在の新宿区信濃町に民音文化センターが新築されるにともない、音楽資料館も移転し、展示部門が拡充されました。

設立以来30年、その間に収集された国内外の音楽資料は、30万点を超え、多数の内外の音楽研究者、演奏家・団体、愛好家などから愛され、親しまれてまいりました。現在では、年間約10万人以上の展示鑑賞者、約1万人以上のライブラリー利用者が訪れ、民間で日本最大の音楽博物館として高い評価をいただくまでになりました。

スタッフ一同、今後さらに「教育、学術および文化の発展に寄与する」機関として、また音楽の素晴らしさを体感していただける皆様のオアシスとして、心安らぐひとときをお過ごしいただける博物館を目指し、努力してまいります。

今後とも、関係各位の皆様方には、ご指導・ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

民音音楽博物館館長 小林啓泰



民音文化センター



MIN-ON MUSIC MUSEUM

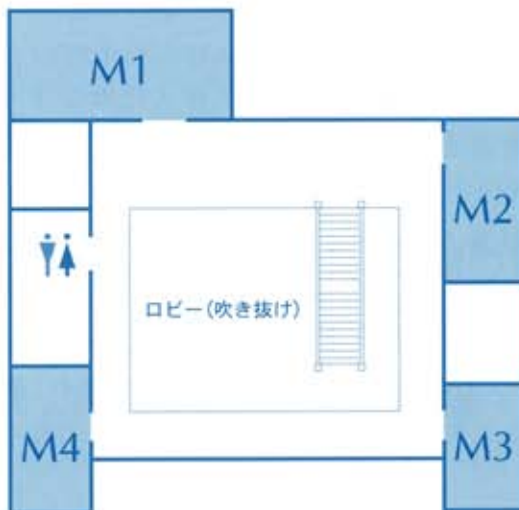
施設概要

音楽博物館の施設は、展示フロアが民音文化センター2階に4室の展示室と回廊部分、音楽ライブラリーが地下1階に試聴・閲覧室と研究室および資料庫、ミュージアム・ホールが地下2階に講演や教育支援事業などのための多目的ホールとしてあります。



メロディーホール

展示フロア (民音文化センター内2階)



開館時間 火～土曜日 11:00a. m. ～ 4:00p. m.

日・祝日 10:00a. m. ～ 5:00p. m.

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は、その翌日)

入場料 無料

M1: 古典ピアノ室

モーツァルトやベートーヴェンなどが活躍していた時代のピアノから、近代のピアノまでを常設展示し、様々な音色を楽しんでいただいております。そのほか自動演奏ピアノもあり、約1000本のロールの中から往時の名演奏を聞いていただいております。

平日は1日5回、日・祝日は7回の解説と演奏を行っております。



M1: 古典ピアノ室

M2：企画展示室

民音の所蔵する音楽史上貴重かつ希少な諸資料を中心に、年数回、特別展として、種類や時代、テーマなどを選んで、わかりやすく企画・展示し、楽しんでいただいております。



M2：企画展示室



M3：オルゴール展示室

M3：オルゴール展示室

19～20世紀初頭、欧米で音楽の大衆普及に大きな影響をおよぼしたミュージック・ボックス（オルゴール）や小さな自動楽器の常設展示室です。円筒（シリンダー）型や円盤（ディスク）型の歴史的オルゴールの音色や自動人形（オートマタ）をお楽しみいただけます。

M4：楽器展示室

世界各国の民族楽器などを、分類別（弾く楽器、擦る楽器、叩く楽器、吹く楽器、振る楽器など）に常設展示しております。日本の楽器のルーツや同じ型の楽器が世界中にあることなど、楽しい発見があります。



M4：楽器展示室



ミュージアム・ホール

ミュージアム・ホール

（民音文化センター内地下2階）

可動式で最大200席まで設けられ、講演会、セミナー、シンポジウム、コンサート、ワークショップ、教育支援事業、リハーサルなどにも使える多目的ホールです。

音楽ライブラリー (民音文化センター内地下1階)

開館日 火・木・土曜日 (祝日の場合は休館)

休館日 月・水・金・日曜日、祝日

8月1日～15日、年末年始

開館時間 11:00a. m. ～ 6:30p. m. (資料請求は6:00p. m. まで)

試聴・閲覧室

資料 (音楽書、楽譜、CD・LP、LD・DVD・ビデオなど) 検索用パソコン5台と楽譜目録カード、逐次刊行物所在目録、作曲家全集・楽譜叢書所蔵リストで資料の検索ができます。なお、検索用パソコン内のデータは、インターネットからでも検索できます。

試聴ブース10台 (うち2台は映像資料も視聴可) があり、CD、LDなどが視聴できます。



閲覧室

研究室

研究者や専門家による学術的な研究・調査のために、特に資料を精査する必要があるとき、使用していただき、オーディオ機器、マイクロリーダーも設置してあります。



試聴ブース

資料庫

当ライブラリーは閉架式のため、可動式資料棚が設置されており、約20万点の資料が収蔵されております。

■ 利用方法

利用の際には、利用カード (発行日より1年間有効、カード発行実費:100円) が必要となります。

初めて利用するときは、氏名と住所が確認できるもの (運転免許証・パスポート・学生証・保険証など) を持参し、利用登録の手続きを行ってください。

録音・映像資料、逐次刊行物、参考図書、作曲家全集・音楽叢書、雑誌については館外貸出はできませんので、館内でのみの利用となります。

なお、オーケストラ/バンド用パート譜の館外貸出については、団体登録が必要となります。登録には、演奏団体印または代表者印、団体または代表者の



研究室



資料庫

住所を証明するもの、団員名簿（パート・氏名・住所・電話番号を記載したもの、団長を含め15名以上が記載されたもの）が必要です。ただし、中学校・高校のクラブの場合は、団体印は学校印、代表者は顧問の先生となりますが、その際住所を証明するものと団員名簿は不要です。

代表者以外の方が手続きに来られる場合は、代理者の住所証明も必要です。



受付カウンター

■ 利用カードの種類と利用対象資料

(1) 個人利用カード

- ① 図書・逐次刊行物（和／洋、逐次刊行物・雑誌は館内閲覧のみ）
- ② 楽譜（オーケストラ／バンド用パート譜、作曲家全集・叢書は館内閲覧のみ）
- ③ 録音・映像資料（LP・CD・LD・DVD、館内視聴のみ）

(2) 団体利用カード

- ① オーケストラ／バンド用パート譜（館外貸出のみ）

■ 資料の検索と請求

図書・録音資料 … パソコンで検索し、請求記号で請求

映像資料 …… 冊子目録で検索し、請求記号で請求

楽 譜 …… 目録カード（一部パソコンでも可）で検索し、請求記号で請求

個人全集・叢書は「作曲家全集・楽譜叢書所蔵リスト」で検索し、請求記号で請求

逐次刊行物 …… 「音楽関係逐次刊行物所在目録」（音楽図書館協議会編）で検索し、誌（紙）名と年月号で請求

■ 館内閲覧・視聴数

個人 … 1回につき、図書・楽譜はあわせて4点まで、録音・映像資料は2点まで（混雑時は最長2時間まで）

団体 … 1回につき、オーケストラ／バンド用パート譜のみ4点まで

■ 館外貸出数と貸出期間

個人 … 1人につき、あわせて4点まで3週間

図書（事典等の参考図書、逐次刊行物、雑誌は除く）

楽譜（オーケストラ／バンド用パート譜、個人全集・叢書は除く）

団体 … 1団体につき、4点まで6週間

楽譜（オーケストラ／バンド用パート譜のみ）

※次回の貸出は、個人・団体とも貸出日より1週間後から

所蔵資料

■ 所蔵資料概数

録音・映像資料	120,000点	その他の資料	
楽譜	45,000点	自動演奏ピアノ(等)／ロール	1,100巻
図書	30,000冊	オーケストリオン／ロール	120巻
民族楽器	615点	ミュージック・ボックス／ディスク	200枚
古典ピアノ・自動演奏楽器等	50点	美術品・写真ほか音楽関連資料	110,000点

■ 主な所蔵品



フォルテピアノ：ティモティオ・シュトローム

(ローマ、1793年)

ローマの貴族のために製作されたもので、外側のケースにはハーブシコードのケースが使われ、中国の庭園が描かれています。ペルを奏でるペダルなど、4本のペダルを備えています。

フォルテピアノ：アントン・ワルター

(ウィーン、1795年)

ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン等に高い評価を得たフォルテピアノで、モーツァルト・ピアノとも呼ばれています。ペダルの代わりに膝で押し上げるニーレバーを用いたり、黒鍵と白鍵が逆になっているなどの特徴を持つこのピアノは、今日では世界に10数台のみという貴重な文化遺産です。



ウェルテ自動再演ピアノ：ブッシュ&レーン

(アメリカ、1927年)

1904年、ドイツのエドウィン・ウェルテ等により、「紙ロール」による「ウェルテ自動再演ピアノ」が製作されました。穿孔した紙ロールには、20世紀初頭に活躍していた世界的ピアニストや作曲家の演奏が、強弱の表現やペダリングの操作もそのままに記録されています。



自動パイプオルガン：コテージ・オーケストリオン＝ ウェルテ・スタイル3

(ドイツ、1900年)

大型の自動演奏パイプオルガンで、180本の木管・金管、大小のドラム、トライアングルが内蔵されたオーケストラの自動再演装置です。



来館者数

■ 展示フロア

2004年度（1月1日～12月23日・295日間）

105,480名

※1997年9月からの累計は854,535名

■ 音楽ライブラリー

2004年度（1月8日～12月21日・150日間）

11,462名

※1974年11月からの累計は350,033名

※2004年12月21日現在の個人登録者数は45,082名、登録団体数は4,670団体

出版物

- 洋楽索引 上巻 作曲者と原題と訳題を引き出すための 小川昂編 昭和50 770p. B5
 洋楽索引 下巻 作曲者と原題と訳題を引き出すための 小川昂編 昭和56 622p. B5
 洋楽の本 明治期以降刊行書目 小川昂編 昭和52 580p. B5
 洋楽の本 明治期以降刊行書目 追補第一巻 小川昂編 昭和62 580p. B5
 新編 日本の交響楽団 定期演奏会記録 小川昂編 昭和58 1,208p. 菊版
 新編 日本の交響楽団 定期演奏会記録 追補1982～1991 小川昂編 平成4 890p. B5
 新編 日本の交響楽団 定期演奏会記録 追補1992～2000 小川昂編 平成14 1,056p. B5
 データ・音楽・につぼん 増井敬二著 昭和55 240p. B5
 日本のオペラ 明治から大正へ 増井敬二著 昭和59 523p. A5
 ウェルテ・ミニョンの大いなる遺産 CD全5巻 民音音楽資料館編 平成5 523p.

事業報告

2004年(平成16年)は次の事業を展開しました。

■ 音楽資料の収集

音楽図書資料(和書・洋書)767冊、逐次刊行物60タイトル、楽譜資料(管弦楽・吹奏楽用印刷譜、作曲家個人全集等)50点、録音資料(CD、DVD等)595点の資料を収集。

■ 古典ピアノ、オルゴール、民族楽器等の収集 および常設展示

常設展示室にて、これまでに当館が収集・保存した楽器等を、テーマ別に選定・展示し、貴重な音楽文化遺産に触れる機会を提供。

● 古典ピアノ(フォルテピアノ等)の展示と演奏

18～19世紀に活躍した著名なフォルテピアノ(モーツァルトやベートーヴェンに所縁の名器を含む)の解説と生演奏。

● 自動演奏楽器の展示と演奏

19～20世紀初頭、欧米で活躍した自動演奏ピアノやオルゴール(ミュージック・ボックス)、自動パイプオルガン等の解説と演奏。

● 民族楽器の展示

世界の民族楽器(代表約100点)を分類展示。演奏法や概説はパソコンにて検索・閲覧。

■ 企画展示の開催

● 「民音創立40周年記念特別展」

2003年12月11日(木)～5月9日(日)

● 「民音音楽博物館開館記念展

：和楽器の遙かなる故郷“シルクロード”

5月18日(火)～11月21日(日)

● 「夏季特別展：夏休みこどもの楽器展」

7月17日(土)～9月12日(日)

● 「特別展：バレエの世紀

～ニジンスキーからノイマイヤーまで～

11月27日(土)～2005年2月27日(日)



民音創立40周年記念特別展



民音創立40周年記念特別展



和楽器の遙かなる故郷展



夏休みこどもの楽器展



バレエの世紀展

■ 文化講演会の開催

● 「歌う革命—歴史の証言」

講師：イマンツ・コカーシュ氏

(ラトビア共和国、合唱指導者・指揮者)

松原千振氏

(日本、合唱指導者・「東京混声合唱団」常任指揮者)

5月16日(火) 大阪リーガグランドホテル

5月22日(土) 民音音楽博物館ミュージアム・ホール



講演会：歌う革命—歴史の証言

● 「バレエの世紀

～ニジンスキーからノイマイヤーまで～

講師：三浦雅士氏

(文芸評論家、「ダンス・マガジン」編集長)

11月6日(土) 大阪リーガグランドホテル

11月27日(土) 民音音楽博物館ミュージアム・ホール



講演会：バレエの世紀

■ 音楽ライブラリー事業の推進

開館日数150日間、11,462名の利用者に、音楽図書、楽譜、録音・映像資料等の閲覧・視聴・貸出を行った。

■ 教育支援事業の推進

- ① 音楽図書館協議会、日本図書館協会、日本博物館協会、国際博物館会議、国際音楽資料情報協会、国際図書館協会連盟、学術情報センター等との相互協力活動を行った。
- ② 宮城学院女子大学学芸員資格課程履修生研修、昭和音楽大学大学院生研修に協力・支援を行った。
- ③ 武蔵野東小学校等の小学校3校、中学校7校、計10校232名の総合学習および修学旅行見学研修等の支援活動を行った。
- ④ 国内・地域における住民、学童への芸術・文化的教育支援活動として、「子どものための手作り音楽体験学習」を8月16日と11月26日に開催したほか、障害者等福祉施設利用者への支援を行った。



手作り音楽体験学習

■ 出版活動

次の出版物を発行した。

- ① 民音音楽博物館ご案内
- ② 企画展・展示案内
- ③ 館報・創刊特別号

今後の事業予定

■ 音楽資料の収集・保存

楽器、音楽書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存ならびに活用

■ 常設展示の開催

古典ピアノ (フォルテピアノ) の展示と演奏
自動演奏楽器の展示と演奏
民族楽器の展示

■ 企画展示の開催

2005年 (平成17年)

「錦絵・双六に見る幕末～昭和の音楽風景」	3月2日 (水) ～ 4月24日 (日)
「民衆の讃歌：大道芸～パフォーミングアーツ」	4月28日 (木) ～ 7月10日 (日)
「こどものための楽器展」	7月14日 (木) ～ 9月11日 (日)
「没後50年記念～ジョルジュ・エネスコ展」	9月16日 (金) ～ 12月23日 (祝)

2006年 (平成18年)

「世界の婚礼音楽と花嫁衣裳展」	1月1日 (日) ～ 4月2日 (日)
「日本オペラの曙～藤原義江展」	4月6日 (木) ～ 7月9日 (日)

■ 文化講演会の開催

「ジョルジュ・エネスコの作品とその世界」(仮題) 2005年秋

■ 音楽ライブラリー事業の推進

音楽書、楽譜、録音・映像資料の収集、保存、整理と活用

■ 教育支援活動の推進

「子どものための音楽体験学習」開催

■ 出版活動

「音楽博物館だより」(仮称) の発行 (旬刊)
館報・第2号

民音音楽博物館

〒160-8588 東京都新宿区信濃町8番地

Tel: 03-5362-3555 Fax: 03-5362-3556

Home Page: <http://www.min-on.or.jp/>

E-mail: m-lib@min-on.or.jp

交通手段: JR中央・総武線 信濃町駅下車

徒歩 約3分

